

アゾキシストロビン水和剤 アミスター 20フロアブル	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ
成分： アゾキシストロビン〔ストロビルリン系 PRTR・1種〕…20.0%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- アミスター 10フロアブルの項参照。
- 各種野菜・畑作物・茶のさまざまな病害に高い効果を示すため、同時防除にも最適である。
- 浸透移行性があるため雨に強く優れた予防効果がある。
- 収穫前使用日数が短く散布適期は幅広く、使い勝手に優れている。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- アミスター 10フロアブルの項参照。
- 〈野菜〉
- 発生初期までの時期に予防的に用いると効果的。
- メロンつる枯病防除には、葉だけではなく、茎にも散布液がかかるようにする。防除には、発生初期までの時期に用いると効果的。
- ねぎに散布する際は、葉液が付着しにくいいため、展着剤を加用すると効果的。

【薬効・薬害等の注意】

- 浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当たっては事前にその適否を確認する。
- いちご、なす、トマトの施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、薬害を防ぐため散布後十分な換気を行う。また、特に散布後高温が予想される場合には使用しない。

- いちごの灰色かび病に対しては、多発生条件では効果が劣る場合があるので注意する。
- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合は、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とす。
- 共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項を参照。
- 適用作物（いちご、メロン、なす、トマト、さやえんどう、はくさい、非結球レタス）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（りんご、ミニトマト）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- しそに使用する場合、株元に散布し、収穫する葉にかからないように注意する。

【安全対策上の注意】

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の 2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の総使用回数	
オ ク ラ	うどんこ病	2000 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	2 回以内	散布	6 回以内 (全面土壌混和 は1回以内, 散布 は2回以内, 株元 散布は3回以内)	
葉たまねぎ	灰色腐敗病 べと病			3 日前まで	3 回以内		3 回以内	
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病 灰色かび病			前日まで	4 回以内		4 回以内	
ね ぎ	さび病 べと病 黄斑病 黒斑病 葉枯病 リゾクトニア葉鞘腐敗病			3 日前まで			5 回以内 (粒剤は1回以内, 水和剤は4回以内)	
わ け ぎ	さび病 べと病			7 日前まで			4 回以内	
あさつき	黄斑病 黒斑病			3 日前まで				
に ら にら(花茎)	白斑葉枯病			14 日前まで	2 回以内		2 回以内	
しゅんぎく	炭疽病			前日まで				
食用ぎく	白さび病			7 日前まで	3 回以内		3 回以内	
にんにく	さび病 葉枯病						4 回以内 (粒剤は1回以内, 水和剤は3回以内)	
だいこん	白さび病 ワッカ症	2000 ～ 3000 倍	1.5 ～ 3 ℓ / m ²	14 日前まで	4 回以内	土壌灌注	4 回以内 (土壌灌注は 2 回以内)	
はくさい	べと病 黒斑病 白さび病			7 日前まで				
	白斑病							
キャベツ	菌核病 株腐病 黒斑病	3 日前まで		4 回以内				
セルリー	斑点病							
非 結 球 レ タ ス	菌核病 灰色かび病 べと病				7 日前まで		2 回以内	散布
レ タ ス	菌核病 灰色かび病 べと病 すそ枯病							
	ビッグベイン病							
非結球あぶら な科葉菜類 (こまつな, チンゲンサイ, タアサイ,みずな を除く)	白さび病			100 ～ 300 ℓ	7 日前まで		2 回以内	散布

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の総使用回数
こまつな	白さび病 白斑病	2000 倍	100～ 300 ℓ	7 日前まで	2 回以内	散布	3 回以内 (粒剤は 1 回 以内, 水和剤 は 2 回以内)
チンゲンサイ タアサイ みずな	白さび病			親株育成期	3 回以内		8 回以内 (苗床では 4 回以内, 本 圃での土壌 混和は 1 回 以内, 本圃 での散布は 3 回以内)
いちご	うどんこ病	1500～ 2000 倍					
	炭疽病	2000 倍					
	灰色かび病	1500 倍					
	うどんこ病	1500～ 2000 倍					
	炭疽病	2000 倍					
灰色かび病	1500 倍						
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	2000 倍		前日まで	4 回以内		4 回以内
	さやえんどう 実えんどう				3 回以内		3 回以内
さやいんげん	灰色かび病 菌核病 角斑病						
未成熟そらまめ	さび病			3 日前まで	4 回以内		
モロヘイヤ	灰色かび病 黒星病			前日まで			
てんさい	葉腐病 褐斑病			1500 倍	14 日前まで	3 回以内	苗床灌注
	根腐病	1500～ 4000 倍					
			500 倍	ペーパーポット 1 冊当り 1 ℓ (3 ℓ/m ²)	定植前	1 回	
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症(輪斑 病菌による) もち病	2000 倍	100～ 400 ℓ	摘採 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
きく	白さび病		100～ 300 ℓ	発病初期	5 回以内		5 回以内
エンダイブ	菌核病 すそ枯病			21 日前まで	1 回		1 回
らっきょう	さび病			3 日前まで	3 回以内		3 回以内
パセリ	うどんこ病			45 日前まで	1 回		4 回以内 (粒剤は 3 回以 内, 水和剤は 1 回以内)
みつば	灰色かび病			14 日前まで 但し、伏せ込 み栽培は伏せ 込み前まで			1 回

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の総使用回数	
みょうが (花 穂)	紋枯病	2000 倍	3 ℓ /m ²	3 日前まで	2 回以内	土壌灌注	4 回以内 (粒剤は 2 回 以内, 水和剤 は 2 回以内)	
みょうが (茎 葉)				みょうが (花穂) の収穫3日前まで 但し、花穂を収 穫しない場合 にあっては開 花期終了まで				
し そ	斑点病		100 ～ 300 ℓ	前日まで	2 回以内	散布	2 回以内	
バ ジ ル	さび病							
	べと病							
せ り	葉枯病			7 日前まで			4 回以内	5 回以内 (粒剤は 1 回以 内, 水和剤は 4 回以内)
クレソン	斑点病			21 日前まで			3 回以内	3 回以内
葉ごぼう	うどんこ病			30 日前まで			1 回	1 回
こおにたびらこ ははこぐさ	菌核病			畑育苗期			2 回以内	2 回以内
わ さ び	白さび病			7 日前まで				3 回以内 (粒剤は 1 回以 内, 水和剤は 2 回以内)
畑わさび								
か ぶ	白斑病			収穫前日まで			3 回以内	3 回以内
やまのいも	葉渋病			14 日前まで				
さといも	炭疽病			7 日前まで			4 回以内	4 回以内
せんぶり	さび病			21 日前まで			3 回以内	3 回以内
みしまさいこ	炭疽病			30 日前まで				
と う き	斑点病			3 日前まで				
とうき(葉)	菌核病		100 ～ 180 ℓ	10 日前まで	2 回以内	2 回以内 (粒剤は 1 回 以内, 水和剤 は 2 回以内)		
た ば こ	赤星病	2000 ～ 3000 倍						
えだまめ	べと病	2000 倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	3 回以内		3 回以内	
ブロッコリー	べと病 黒すす病			3 日前まで				